

日時:2024 年 1 月 21 日(日) 10:05-10:55

会場:東京大学駒場キャンパス 21 KOMCEE West レクチャーホール

## 1. 報告事項

### (1)会長(永田)

- ・永田会長より以下の挨拶があった。
- ・本年度、特に会長自身がイニシアティブをとって新たな事業を行ったということはありませんでしたが、会誌発行、クアラルンプール地区例会を含む例会の開催、そして本日の研究大会と、担当理事を中心に順調に進めて頂きました。大会におけるポスターセッションは昨年引き続き多くの発表があり、定着してきたように思います。若手育成に関しては十分な活動ができませんでしたが、本学会が関わる領域の研究者の厚みを維持・発展させていくことは大変に重要と考えており、この点は次期理事会に引き継ぎたいと思います。

### (2)総務(山本)

- ・2023 年度末の時点での会員数は 192 名。前回研究大会時より退会 3 名、除籍 25 名、入会 12 名で 16 名減。除籍の 25 名は、10 年以上の会費滞納者で会員資格を失っており、事務局から連絡がつかなくなっていた会員。
- ・会費滞納者には個別に督促する。連絡先不明の場合は会員 ML 等で連絡先等の情報提供を呼び掛ける。
- ・2023 年 7 月 1 日に会員名簿を発行した。
- ・毎月の「知識探訪」を含め、学会 HP の情報更新を随時行っている。

### (3)編集(篠崎)

- ・会誌『マレーシア研究』第 12 号を 2023 年 10 月 31 日付けで刊行した。華語文芸誌『蕉風』を中心に、冷戦期の 1950 年代から 60 年代に活発化した東南アジアと東アジアを結ぶ越境的な華語出版ネットワークおよびそのなかで展開した人的・思想的交流をとらえた特集と、論説 1 本、書評論文 1 本、書評 7 本、エッセイ 12 本を掲載した。
- ・第 13 号の原稿を募集し、2024 年 3 月の刊行を目指して編集作業を行っている。昨年度の研究大会シンポジウム「葛藤するマレーシアの教育:国民統合とグローバルな競争」をもとにした特集を企画している。

### (4)大会(久志本)

- ・2024 年 1 月 21 日に研究大会を開催した。研究大会では、シンポジウム、個別研究報告、ポスターセッションを企画した。

日時 2024 年 1 月 21 日(日)

会場 東京大学駒場キャンパス 21 KOMCEE West

#### (5)例会(久志本)

- ・2023年5月27日(オンライン開催)

「Sinitic Language Filmmaking in Malaysia」チュー・フイヤン(愛知淑徳大学)

「マレーシア華人による華人表象:民族博物館と歴史教科書を例に」ヨーン・ペーン(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程)

- ・2023年9月16日(オンライン開催)

「マレーシアが主導 世界ムスリム19億人の胃袋争奪」野澤康二(BSテレビ東京チーフ・プロデューサー)

「多拠点居住生活における主要拠点としてのマレーシア」永田篤史(朝日新聞社 パブリックエディター事務局主査)

#### (6)連携研究会(篠崎)

舛谷鋭会員のご助力により、現地配信でクアラルンプール地区例会を開催した。

- ・2023年12月16日(オンライン開催)

「マレー語・インドネシア語学習の盲点」佐藤宏文(タイ王国ヤラー大学人文社会学部マレー語部客員教授)

#### (7)若手育成(穴沢、総務代読)

- ・今年度の若手育成については昨年度の科研費の書類作成支援のような具体的な活動を実施することができませんでした。活動が滞りましたことにつきまして深くお詫び申し上げます。

## 2.審議事項

### (1) 2022年度の決算について

- ・添付資料の「JAMS2022 年度決算報告」をもとに光成歩総務委員より決算が説明され、光成委員の代読により金子芳樹監査による監査結果が報告され、決算報告が承認された。

### (2)2024年度の運営体制について

- ・片岡樹選挙管理委員長より理事選挙結果について報告がなされ、報告の通り承認された。
- ・2023年10月10日を締め切りとして郵送による投票を行い、開票の結果、得票数の上位者から順に当選を通知し、伊賀司、篠崎香織、坪井祐司、光成歩、山本博之(五十音順)の5名から理事就任の受諾を得た。
- ・山本理事予定者より、次期の運営体制が以下のように提案され、提案の通り承認された。

会長 山本博之

総務 光成歩

会誌編集 \* 篠崎香織・坪井祐司

大会 \* 坪井祐司、伊賀司

例会 \* 伊賀司、篠崎香織

\*印は主たる担当理事。

(3) 2024 年度の予算案について

- ・添付資料の「日本マレーシア学会 2024 年度予算案」をもとに光成総務委員より予算案が説明され、原案の通り承認された。

(4) 2024 年度の研究大会について

- ・山本理事より、2024 年度研究大会について、開催時期は 2023 年 12 月から 2024 年 1 月の間の時期を予定しており、具体的な日程および会場は 2024 年 4 月以降に理事会が決定した後に会員メーリングリストで告知することが提案され、提案の通り承認された。

以上

JAMS2022年度決算報告(単位:円)

2021年度繰越金				2,215,748 ①			
2021年度以前会費後払い分				160,000 ②			
収入			支出				
	予算	収入			予算	支出	
会費				通常支出			
一般 (3,000×140)	420,000	262,000 ⑧		会誌	450,000	437,685	
学生 (2,000×20)	40,000	6,000 ⑨		研究大会	70,000	45,690	
賛助会員	120,000	120,000		情報化経費	120,000	21,890	
利子	0	12		通信費	40,000	0	
				事務諸経費	20,000	15,825	
				原稿料	72,000	72,000	
				業務委託費	93,500	93,500	
収入合計	580,000	388,012 ③		支出合計	865,500	686,590 ④	
2022年度収支 (③-④)				-298,578 ⑤			
2022年度繰越金 (①+②+⑤)				2,077,170 ⑥			
2023年度以降会費前払い分				220,000 ⑦			

上記の2022年度収支決算報告の内容に相違ありません。

2023年 8月 1日

総務担当理事

山本博之 

日本マレーシア学会規約に基づき、会計の状況を監査いたしました。  
決算報告について、収入・支出状況に関わる付属文書等を参照し、監査を行った結果、  
適正であると認めます。

2023年 8月 31日

監事

金子芳樹 

日本マレーシア学会2024年度予算案(単位:円)

2024/1/21

収入		支出	
繰越金		通常支出	
2022年度繰越金	2,077,170	会誌	450,000
		研究大会	70,000
会費		情報化経費	422,000
一般 (3,000×140)	420,000	通信費	20,000
学生 (2,000×20)	40,000	事務諸経費	20,000
賛助会員	120,000	会誌作成協力費	72,000
		業務委託費	93,500
収入合計 (①)	<b>2,657,170</b>	支出合計 (②)	<b>1,147,500</b>
2024年度収支 (① - ②)		<b>1,509,670</b>	